

ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

# るうぶ

金沢市  
男女共同参画広報誌

2014  
VOL. 31

## 金沢市男女共同参画都市宣言



### 報告

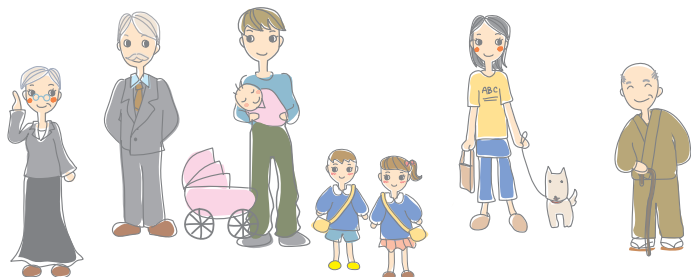
男女共同参画市民フォーラム 開催

女性活躍促進事業「なでしこプロジェクト」報告

素敵にワークライフバランス

るうぶ（ループ）は「輪」という意味で、市民が手をつなぎ、男女共同参画社会づくりをめざし、交流の輪を広げてほしいという思いを込めて命名したものです。

# 金沢市男女共同参画都市



～ささえあって 輝いて あなたも

日時 平成 26 年 3 月 8 日 (土)

場所 北國新聞

## 記念式典

### オープニングアトラクション



金沢錦丘中学校 2 年の六反田菜利さんが、「働く自由」と題した作文を朗読しました。母親が産後の再就職に苦労した話をしてくれたことから、女性が子育てをしながらも働ける社会の実現へ向けて、「固定観念を見直すことから始まるのでは」との意見を述べました。



金沢市民芸術村を拠点に活動している、小・中・高校生から成るジュニア・ジャズ・オーケストラ JAZZ-21 が、躍動感あふれる音楽を演奏しました。音楽を通して交流の輪を広げる活動も実施しています。

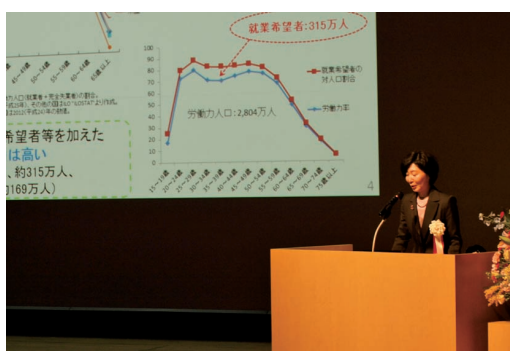


### 記念式典 宣言文群読



会場の参加者全員で、金沢市男女共同参画都市宣言の宣言文群読を行いました。

### 内閣府からの情勢報告



内閣府からは、ジェンダー・ギャップ指数（労働参加率の男女比、同一労働における賃金の男女格差、管理職の男女比などから算出）が、日本は 136 か国中 105 位であることなどが話されました。

男性自身は家事・育児への参加意欲があるものの、実際の利用が進んでいない現状が伝えられ、今後、日本経済の活性化のためには、女性のさらなる活躍が必要不可欠であるとのこと。

また、東日本大震災の教訓から、災害時における男女共同参画のあり方についても言及されました。



私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。

すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと強調し、連携を深めていくことが重要である。

よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とするため、男女共同参画都市となることを宣言する。



# 宣言 市民フォーラム

わたしも 未来へ向かって～

赤羽ホール

主催 内閣府・金沢市



## 市民フォーラム

### 金沢市女性活躍促進プロジェクト事業

#### 「金沢なでしこプロジェクト」成果発表

株式会社ニューハウスサービスの常務取締役 川端博之さんと、同社中堅社員である岡野亜湖さんが、社内での取り組みについての成果を発表しました。

当初は、会社からの指示を受けて、なでしこプロジェクトに参加した岡野さんですが、研修を重ねるごとに仕事への意識に変化が出てきたとのこと。特に社員間のコミュニケーションについてはさらなる強化の必要性を感じ、改善できそうな点を積極的に提案しているそうです。異業種交流で刺激を受けたことにも触れ、置かれた状況の中で、自らできることを実践し、職場の改善に一步步貢献していきたいと話しました。

岡野さんの発表を受けて、川端さんが経営側からの成果を発表しました。女性活躍促進会議での各セミナーや他の企業との連携などを通して、多くのヒントを得ることができたとのこと。プロジェクトに参加してから、受注推進企画室への女性社員参加や、14年ぶりの新卒採用など、会社に新しい息吹を吹き込む風土が高まりつつある現状を話してくれました。今後の課題も見えてきたそうで、続けて取り組んでいきたいとのことでした。



## 記念講演

### 中小企業の経営戦略としての女性活躍 ～金沢の未来は女性がつくる～

講師：渥美 由喜 氏（内閣府 少子化危機突破タスクフォース 政策推進チームリーダー）



中小企業においては、女性が活躍している職場とそうでない職場が二極化しています。中小企業ほど、経営者の考えが大きく影響してくるからです。

英リサーチ会社の調査によると、女性役員が1人以上いる会社は、男性だけの会社に比べ、組織の破たん確率が減るそうです。ワークだけでなく、ライフのキャリアが高い女性がいることで、組織は多面性を持ち、社会性のある組織になるからだと考えられます。同時に、生活者としての視点を活かしたヒット商品や、時間に制約があることによる仕事の効率化など、企業側へのメリットは計り知れません。

ここで強調したいのが、女性の活躍は男性の椅子を奪うものではないという点です。女性に向けた支援は必ずしも女性のため

のみならず、男性にとってもプラスに働くことが多いです。

ダイバーシティマネジメントやワークライフバランスは、今後、経営戦略の中で不可欠になってきます。ただし、すぐに結果が出るものではなく、漢方薬のように、続けるうちに効果が上がってくるものです。目先の業績だけに目を向けていると後回しになりがちですが、そのような企業に未来はありません。これに気づけるかどうか、企業にとっての大きな分岐点になるでしょう。

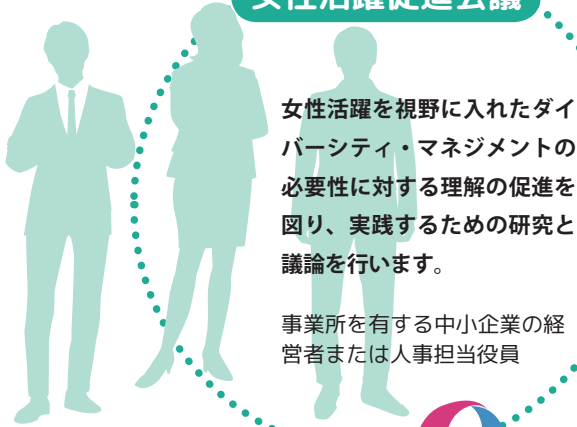
私は今、共働きの妻と一緒に、7歳と4歳の子どもを育てています。育児休業も2回取得しました。同時に4年前から父の介護が始まりました。次男は病気を持っています。介護の終わりも見えません。ですから私自身にとっても、ワークライフバランスや男女共同参画というのは、机上の空論ではありません。

私が提案するのは、ワークの部分でもライフの部分でも、「良かった」と感じることを見つける「良かった探し」です。ここで働いてよかった、生まれてきてよかった、産んでよかった—人生のあらゆる側面に真摯に向き合い、周りと協力して乗り越えることこそが、幸せにつながっていくのではないのでしょうか。

# なでしこプロジェクト

★ 金沢市では、女性の能力を活かし、女性の活躍を促進することにより地域経済の活性化が図られる「女性が活躍できるまち金沢」の実現を目指し、「金沢なでしこプロジェクト事業」実施しています。

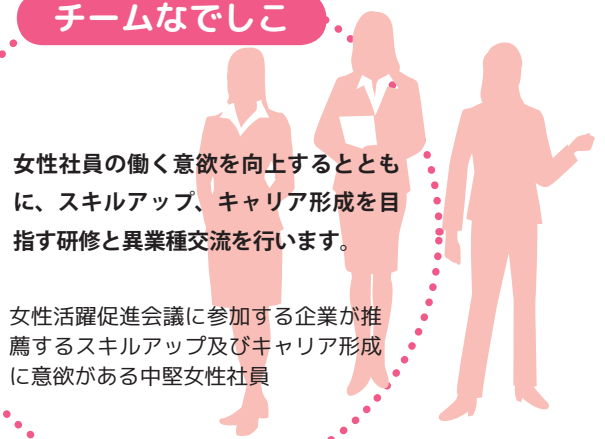
## 女性活躍促進会議



女性活躍を視野に入れたダイバーシティ・マネジメントの必要性に対する理解の促進を図り、実践するための研究と議論を行います。

事業所を有する中小企業の経営者または人事担当役員

## チームなでしこ



女性社員の働く意欲を向上するとともに、スキルアップ、キャリア形成を目指す研修と異業種交流を行います。

女性活躍促進会議に参加する企業が推薦するスキルアップ及びキャリア形成に意欲がある中堅女性社員

企業が社員の力を引き出す経営

PICK UP

## 女性活躍促進会議

### 第1回 H25.8.30



サイボウズ 青野社長  
『これからの人材活用～多様な人材活用に向けた人事制度の考え方と効果～』

### 第3回 H25.9.20

東レ経営研究所  
『多様性を活かすためのワーク・ライフ・バランス』



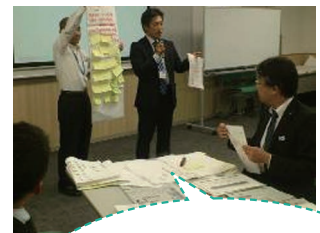
DVDを利用  
してのケー  
スタディ

働き方の  
多様性について  
ディスカッション  
を行いました。



### 第4回 H25.10.4

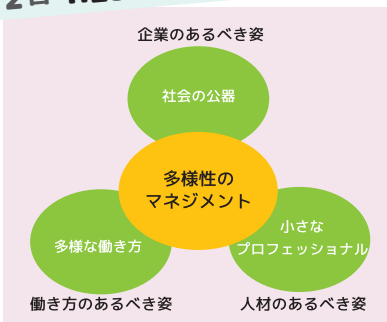
東レ経営研究所  
『多様な人材が活きる職場づくり』



自社の現状を把握し、  
目指すべき目標を明確にすることが、  
多様な人材を活かす職場づくりへの  
体制構築につながるということを  
確認しました。

多様な人材を活かす組織マネジメント、ワークライフバランス、職場づくりのあり方についての努力はまだまだ続きます！

### 第2回 H25.9.4

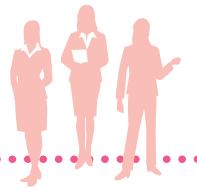


麗澤大学 木谷教授  
『多様な人材を活かす組織マネジメント』

### Follow up H26.1.24

東レ経営研究所  
Work1 各社「前進・改善」事例の共有  
Work2 各社「課題・問題点」へのディスカッション  
Final 「さらなるアクション」宣言





PICK UP

## チームなでしこ

### 第1回 H25.8.29

#### キャリアデザイン



女性中堅社員としての不安を洗い出し、どう対処していけるか話し合いました。

### 第3回 H25.10.21

#### フォローアップ宣言！～明日から活かす



職場において女性管理職を増やすためにはどうしたらいいか、それぞれの立場で考えました。

### 第2回 H25.9.13

#### コミュニケーションカアップでリーダカアップ！



部下に信頼されるリーダー像について、話し合いました。

### 自主学习 H26.1.10

#### 自主学习活動～アクションプラン実践に向け～



なでしこプロジェクトに参加して発見したこと、変わったこと。今後の課題、これからの会社でのあり方について、それぞれのメンバーが課題を明確化しました。

### プレゼン講座 H25.12.18, H26.1.15, 2.14



#### 自主研修 by プレゼン大学

3回のシリーズでプレゼンについて学びました。講師は、金沢市で『プレゼン大学』を主宰している田村隆さん。自分の思いをどのように効果的に伝えていくか、緊張をいかにしてパッションに変えていくか、さまざまな実践的ワークに取り組みながら、プレゼンのスキルを磨きました。

実際にみんなの前で発表するという場面では、早速学んだ知識を活かし、いずれのメンバーも魅力的なプレゼンを行っていました。



## 金沢市女性活躍推進庁内プロジェクトチーム「かがやき13」活動報告

### プロジェクトチームについて

女性職員の働く意欲の向上及びキャリア形成等を図り、金沢市における男女共同参画を推進することを目的として設置。課長補佐級又はグループ長の職にある各局から推薦された女性職員13人で構成。

### かがやき13とは？

来年開業の北陸新幹線「かがやき」と女性職員が「かがやき」続けたいとの思いを込めて、2013年度の1期生13名のグループ名をメンバーで考え命名。

### 活動内容

- 金沢なでしこプロジェクトへの参加
- 市職員意識調査の実施
- 管理職との座談会
- プレゼンテーション研修 ほか



さまざまな活動を通して、各自が職場の課題の解決策について考えました。

すてきに

仕事と生活の調和を

# ワークライフ バランス

## 仕事と生活の調和 ワークライフバランスはなぜ必要？

一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすためには、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択できることが重要です。

今回はすてきにワークライフバランスを実践している3人をご紹介します。

宮崎 円さん

ランニング

独身時代は、一日中パソコンの前で仕事をしていました。当時は常に体調がぱっとせず、周りを見渡しても病気がちの人ばかり。そんなとき知り合いに誘われて、ランニングの会へ。メンバーの明るさと、体を動かすことの気持ちよさに、一気に走ることに魅力にはまりました。

その後、ランニングを通して出会



## 人生勉強しながらリフレッシュ

僕は、県内を中心に活動している YOSAKOI チームの代表をしています。

小さな子どもから年配の方まで、踊ったり旗を振ったりしているので、さまざまな世代と交流が持つことができます。そして、たくさんの観客の前で踊るので、誰でもスターになった気分になれます。夜、まばゆいばかりのスポットライトの中、拍手と歓声を浴びながら踊るのは、何よりのストレス発散になります。仕事で悩むことがあっても、踊れば心はリフレッシュ。明日への活力になります。

YOSAKOI はチームで動くので、組織の在り方や幅広い年齢層との接し方など、多くを学ぶことができ、仕事にも役立っています。世代の壁を越えて、演舞という作品に打ち込めるのは YOSAKOI ならではの魅力だと思います。

片岡 寿弥さん

YOSAKOI



## 切り替えが早くなり落ち込む時間が減りました

いがあり、結婚、出産。今は保育園の年少組の息子を育てながら、仕事をしています。

仕事先では、若い世代に囲まれて、覚えなければいけないこともたくさんあります。若いころのように楽に覚えられず、落ち込むことも。でもランニングのおかげで切り替えがとも早くなりました。

仕事と家庭と趣味のバランスを保つためには、周りとの協力が不可欠です。同じランナーの夫や同居しているお義母さんには助けてもらうことも多く、感謝の気持ちでいっぱい。

日々の暮らしの中で、気持ちが落ちることもありますが、走ることで何度も救われてきました。今後もうずっと走り続けていきたいです。

関 克己さん

バレーボール



## バランスを保つことで、楽しい日々を過ごせています

小学生の頃から学生時代までは、ずっとバレーボールに明け暮れていました。しかし、社会人になり、仕事や家庭・子育てに追われて、バレーボールから遠ざかる日々。その間に体重が大幅に増加！喫煙もあり、決して健康とは言えない身体になってしまいました。

そんな時、昔の仲間へ声をかけてもらい、地元のバレーボールチームに通うようになりました。今は、毎週メンバーと1～2時間ほど練習をし、汗をかいています。

平日は、仕事や家庭のことなどで忙しい日々ですが、週末、練習でボールに向かってい

時は日常を忘れ頭も身体もスッキリできます。

チームに参加していなければ出会えなかったらう人との繋がりもできました。チームメイトとのふれあいも、仕事を離れた付き合いができる大切な時間です。

休日は、予定がつけば小学生のジュニアバレーボールチームのコーチにも行っています。自分の息子より小さな子どもたちにエネルギーをたくさん分けてもらえ、それが翌週からの仕事の活力にもなっています。

仕事、家庭、趣味のバランスが保てることで、楽しい日々を過ごせているのだと思います。

# 暴力の女性と子どもへの影響

～被害女性と子どもに対する支援を考える～

【日時】2013年11月9日(土) 【会場】金沢市教育プラザ富樫 121.122 研修室



## 第1部 【講演】DVの実態と子どもへの影響

講師 原 健一 さん 佐賀県DV総合対策センター所長

### REPORT

配偶者や恋人から受けるDV被害の現状、今の法律などが説明されました。DVを受けることにより、身体的、精神的にどのような影響が及ぼされるのか、そして、被害者から相談された場合に伝えて欲しいことや、言ってはいけない言葉についても学ぶことができました。親のDVが子どもに及ぼす影響として、感情面・学習面・生活面などにおいて、多くのマイナス要因が引き起こされること、大人になってから加害者へとつながる心配もお話されました。



## 第2部 【パネルディスカッション】子ども達を被害者にも加害者にもしないために

パネリスト 原 健一 さん 佐賀県DV総合対策センター所長  
中村 明子 さん 弁護士  
広岡 立美 さん 女性と子ども支援ネットワーク金沢代表  
進行役 坂井 美津江 金沢市女性相談支援室長

### REPORT

パネリストがそれぞれの立場で受けた相談の実例を挙げながら、両親の間で揺れ動く子どもの葛藤、デートDVの被害や、最近問題となっているネット問題にいたるまで、ディスカッションを行いました。参加者からは、DV予備軍を発見し予防するにはどうしたらよいか、などの質問がされ、それに対するアドバイスがありました。



## 「私らしさ」を取り戻す

### 傷つきからの回復ワーク

どんな暴力でも心は傷つきます。安心できる場所で、傷ついたところをケアするためのさまざまな情報を得て、テーマごとのワークにとりくみ、安心できる感覚とあなたらしさを取り戻す第一歩を踏み出してみませんか。

**日時** 隔週 水曜日 18:45～20:45 (1回ごとの参加も可)  
H26年度 4/23 5/7 5/21 6/4 6/18 7/2 7/16  
7/30 8/13 8/27 9/10 9/24

**場所** 金沢市女性センター相談室 (金沢市三社町1-44 3F)

## 母と子のこころのサロン

### DVを受けた母親が、子どもと一緒にほっとできる場所

同じ体験をしたお母さんたちがゆったりと、お茶をのみながらおしゃべりをしたり、子どもたちが絵を描いたり遊んだり。ネットワークのメンバーとともに時を過ごす安心・安全な空間を提供いたします。

**日時** 毎月1回 土曜日 13:30～15:30  
H26年度 4/19 5/17 6/14 7/19 8/16 9/20  
10/11 11/15 12/13 1/17 2/14 3/14

**場所** 下記へお問い合わせください



金沢市人権女性政策推進課  
TEL 076-220-2095  
Email jinkenjyosei@city.kanazawa.lg.jp

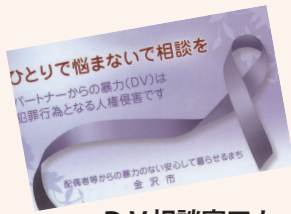


ひとりで悩まず相談してみませんか？

## 女性相談支援室

月～金 9:00～17:00

- 夫婦問題、離婚等などの不安や悩みの相談
- 配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
- 子どもや親等との関係についての不安や悩みの相談
- セクハラ・パワハラ等職場の人間関係の悩みの相談
- 生活、その他女性の身上相談



DV相談窓口カード



### 女性相談専用電話

076-220-2554

秘密は堅く守られます。

### 特別相談（事前予約が必要）

#### 女性弁護士による法律相談

毎月第1火曜日 午後 / 第3金曜日 午後

#### 臨床心理士による心の相談

毎月第2木曜日 午前

#### カウンセリング

毎月第4木曜日 午後

### 傷つきからの回復ワーク

#### ミーティングルーム・るうぷ

毎月第3木曜日 午後

詳しくはお問い合わせください。

人権女性政策推進課 TEL 076-220-2095

## 平成26年度 金沢市女性センター 開講講座

※テーマや内容が一部変更になることがありますので、ご了承ください。

### 男女共同参画関連講座

- 1 アドバイザー養成講座（基礎編）  
「身近な男女共同参画課題を学ぶ」
- 2 子育て応援講座  
「パパも一緒に楽しく子育て」
- 3 男性のライフプランニング講座  
「自分のためのときを」



### 暴力予防啓発講座

- 1 親子でセルフディフェンス  
「心とからだを自分でまもろう」
- 2 暴力被害経験のある女性のケア講座  
「私らしさをとりもどす」
- 3 若者のDV予防啓発  
「人と人とのより良い関係を築く」

### 女性のエンパワーメント支援講座

- 1 女性のキャリアデザイン講座I  
「仕事でも生活でも、輝き続けたい」
- 2 女性のキャリアデザイン講座II  
「アラフォー女子のプチゼミ」
- 3 女性のライフプランニング講座I  
「自分らしく生きる」
- 4 女性のライフプランニング講座II  
「ママの再チャレンジ」
- 5 女性のこころとからだの健康講座I  
「女性の不調とキレイに効く！」
- 6 女性のこころとからだの健康講座II  
※大阪ウィメンズセンター共催事業
- 7 子育てママのおしゃべりカフェ
- 8 女性起業塾



### 市民活動支援講座

アドバイザー養成講座（専門講座）  
「輝いて地域のリーダー」

### 男女共同参画グループ活動促進事業

男女共同参画ミニフォーラム  
※女性センターフェスティバル共催事業



この情報誌へのご意見や感想などございましたら、お気軽にお寄せください。

発行：金沢市人権女性政策推進課

〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1 TEL 076-220-2095

Email: jinkenjyosei@city.kanazawa.lg.jp

URL <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/22075/danjyo/index.html>

編集：子育て向上委員会



金沢市男女共同参画